

子どもの歯のケガ



子どもの歯のケガの原因の1位は「転倒」です。男子の方が女子の約2倍多いと言われています。歯をぶつけても出血しなかったり、痛みがない場合でも歯の周りの組織にダメージが及んでいることもあります。ケガをした歯が乳歯だと永久歯への影響も考えられるため歯科医院を受診してください。ケガをした時の対処法を押さえておきましょう。

●歯が抜けた

乾燥は大敵です。ラップやビニール袋で乾燥を防ぎ、1時間以内に受診しましょう。すぐの受診が難しい場合は牛乳に入れて冷蔵庫で保存しておきましょう。それでも持つのは一晩ほどです。水道水には塩素が含まれているので泥や砂がついていても洗うのはやめましょう。

●歯が欠けた、折れた

歯のかげらがある場合も牛乳に入れるなど乾燥を防いでお持ちください。歯の神経を守るためにも当日の受診がおすすめです。半日ぐらい経つと痛みが強まることがあるので放置は危険です。

●唇や歯ぐきが切れた

傷口を清潔なガーゼなどで軽く押さえて止血しましょう。傷の中に砂や異物が残ると傷跡になりかねないので歯科医院で十分に洗浄するようにしましょう。

●歯がグラグラする、嘔吐と痛い

歯が抜けていたり、歯の根や顎の骨が折れている可能性があります。抜けそうな歯を飲み込まないように注意して受診するようにしましょう。

時間が経ってから症状が出てくることもあるため歯科医院での経過観察も必要です。

○小山○

乳児に発生しやすい 口腔内の病気



①萌出性歯肉炎

歯が萌出するときに歯に被っている歯肉と歯の隙間に食べかすが入って歯肉に炎症を起こし赤く腫れることがあります。これを萌出性歯肉炎と呼びます。

②先天性歯

生まれた時すでに歯が生えていたり、生まれてから1ヶ月以内(新生児)に歯が生えてきたりすることがあります。この歯を先天性歯と呼びます。先天性歯のほとんどが下顎の乳中切歯で、早く生えてくるため歯の形成が未熟で歯根も出来ていないため、歯が動揺したりします。動揺が強く、歯を飲み込む恐れのある場合は抜歯をしますが、特に問題ない場合、経過観察します。

③上唇小帯の異常

上唇を引き上げた時に唇の裏側と前歯の歯肉の間についている粘膜のひだの部分を上唇小帯と呼びます。上唇小帯が問題になるのは前歯と前歯の間に入り込み、歯の隙間の原因になっている時です。乳歯の間は様子をみる場合もありますが、永久歯に生え変わっても同じ状態のときは上唇小帯を切除します。

○成見○



6歳未満は高濃度フッ素NG

6歳以上になると永久歯の前歯はあごの骨のなかでエナメル質の部分ができあがっています。しかし、6歳未満ではまだ形成途中のため、6歳未満のお子さんが1450ppmの歯磨き剤を使い、毎回飲み込んでしまうと、歯のエナメル質が白く濁って見える歯のフッ素症(斑状歯)が生じる可能性があります。

そのため、1450ppmの歯磨き剤は6歳未満への使用は控えるよう製品に記載されています。

6歳未満のお子様はフッ素配合の歯磨き剤を使う場合は500ppmを目安に選んでみてください。

○佐藤(嘉)○



妊娠中の 歯科治療について

疑問に
お答えします!!!

子ども特集



妊娠中は、ホルモンバランスの乱れによって口腔内環境が変化し、虫歯や歯周病の菌が増加しやすくなります。妊娠中の場合、歯科治療を受けるタイミングとして最適なのは、妊娠中期です。妊娠初期、妊娠中期、妊娠後期に分けて説明したいと思います。

妊娠初期 【4ヶ月 - 15週 -】

妊娠4~8週の歯科治療は慎重に取り組む必要があります。この時期は、審査や治療計画、ブラッシング指導、PMT Cまでにとどめます。歯の痛みに関しては、応急処置をして、本格的な治療は安定期に入ってから行うようにします。



妊娠中期 【5~7ヶ月 - 16~27週 -】

このタイミングで通常の歯科治療を行います。レントゲン撮影や投薬も可能となる安定期と呼ばれる時期になります。



妊娠後期 【8ヶ月 - 28週 -】

妊娠後期は早産などの危険を回避するために処置は応急的なものととどめます。お腹も大きくなっていて仰向けでの治療も大変で苦しいです。治療が必要なケースでもこのタイミングは避け、出産後に治療を本格的に行います。

定期的にお口の中をチェックし、妊娠中に痛みが出ないように予防することが大切です。

○成見○

仕上げ磨きのお助け



☆歯が生え始めたころの赤ちゃん☆

【原因】

赤ちゃんにとって歯ブラシは未知の変なもの
赤ちゃんのお口は敏感なセンサー

【対策】

- ①スキんシップ
お口の周りを指で触れたり、
お口の中をみせてもらったりする
- ②歯ブラシで驚かせない
いきなり歯ブラシをお口に入れると
びっくりして歯磨き嫌いになる
ちょんちょんと触れる程度から始め、警戒心を解く
- ③遊び感覚で少しずつ
歌を歌ったり音楽を流したりして
楽しい雰囲気で行う
- ④興味を引き出す
パパ・ママの歯磨きしているところを見せて
歯磨きへの興味を引き出す



☆イヤイヤ期に突入したお子さん☆

【原因】

成長し自我が芽生えた、磨く人の顔が必至で怖い
歯ブラシが当たって痛い
磨く人の爪が当たって痛い

【対策】

- ①ビデオや歌で楽しく
楽しい雰囲気仕上げ磨きをする
- ②いろんな味の歯磨き剤
子供向けの歯磨き剤やジェルには
いろんな香味のものがあり、
いくつかそろえて選べると楽しくできる
- ③磨く係を交代
いつもママが磨いているなら、パパに交替してみる
- ④無理なときはお休み
次の日すぐに虫歯ができるわけではないので、
「今日はもう無理」という日は
「明日必ず」と約束してお休みもあり。



○千葉○

◆発行元

泉MK歯科クリニック

TEL 022-373-0020

FAX 022-373-0040

◆診療時間

月・水・木・金・土曜日
9:00~19:00
(昼休み13:00~15:00)
日曜日
9:00~13:00

◆休診日

火曜日・祝祭日

◆予約制

◆新患・急患

随時受付しております

泉MK歯科クリニック新聞

2019
秋号
VOL. 32